2020年に新しく名称が変わりました

ろうきん こくみん共済 coop
働く仲間のゆめ・みらい基金

～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～

基金レポート2020

職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。

発行 2020年8月／基金運営事務局　公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会

感謝をこめて

ゆめ・みらい基金　おおきな広がり!

公益財団法人　沖縄県労働者福祉基金協会　理事長　東盛 政行

4 年目を迎えた「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」は、労働組合をはじめ多くの会員・協力団体と共に「公助」で補えない部分を「共助」で支援することで「子の貧困」の根本的な問題である「親の貧困」について改善・解決に向けた取り組みを行ってきました。

2019 年度「ゆめ・みらい基金」への寄付状況については、個人寄付金や団体寄付金、ろうきん社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済 coop 社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済 coop 指定整備工場協議会等から 935 万円の寄付をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

支援状況については、世界中で猛威を振るう新型コロナウィルスの感染拡大の影響を受け、休業等に伴い収入が減少し雇用や生活不安を抱える養育世帯に対して食糧支援など緊急支援策にも取り組んできたところです。また、ネグレクト等による「子」自身への支援ケースも増えてきています。

このように子どもたちが夢をあきらめない共助・共感による共生社会の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

貧困撲滅に向けた政策の実現を行う

連合沖縄　会長　東盛 政行

連合は、すべての働く者・生活者のくらしの底上げ・底支えと格差是正、貧困の撲滅に資する政策の実行が不可欠であると考えています。

日本の子どもの貧困率は、OECD 加盟国 34 カ国中 25 位となっており、その中でも、沖縄県は全国に比べて約 2 倍、3 人に一人が貧困状態となっており、極めて深刻な問題となっています。

連合沖縄は、子どもの貧困撲滅と貧困の連鎖を断ち切るために、構成組織・組合員に対して「働く仲間のゆめ・みらい基金」への協力と結集を要請してきました。

さらに、連合運動の大きな柱である「政策・制度要求の実現」のなかで、①就学援助・就学支援制度の充実、②バス通学への援助などについて国や県に要請するとともに、「こども未来県民会議」などの各種委員会へ参加し提言を行っています。

今後においても、すべての働く仲間の暮らしの底上げ・底支えの実現に向けた運動を積極的に展開していきます。

「共感の輪」を「助けあいの輪」へ

こくみん共済 coop〈全労済〉　沖縄推進本部　本部長　大庭 雄一

労働者福祉事業団体が中心に運営しています「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」は、沖縄県内で直面している「子どもの貧困」への支援活動として共感の輪が広がっています。

特に最近の新型コロナウイルス感染拡大の影響は、沖縄県の経済に大きな影響を与えており、今後、「子どもの貧困」は更に差し迫ったものになることが危惧されます。

沖縄県内に広がっている基金への「共感の輪」を更に「助けあいの輪」へと広げ、「誰一人取り残さない」社会づくりの一助となり、「社会的労働運動」として継続的な基金運営につながることを願ってやみません。

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部も、「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」の取り組みを積極的に支援しており、組合員の皆さまにこの活動へのご理解と多くの共感をいただいていると実感しています。

そのおかげもあり、2019 年度も多くの組合員（お客さま）にご契約をいただくことができ、新契約件数は 2018 年度を上回る実績となり、基金への寄付金額を増やすことができました。

また、指定整備工場沖縄県協議会も 2018 年度より車検入庫の年間台数に応じて各指定整備工場から基金への寄付を行っており、多くの入庫実績をいただいたことで 2019 年度も大きな金額を寄付することができました。

今後も引き続き、労働者福祉事業団体間で「共創」したこの基金活動を通して助けあいの輪を結び、こくみん共済 coop〈全労済〉の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現を目指していきます。

「共助・共感の輪」　今こそ「求められる支援」に一丸で取り組む時!

沖縄県労働金庫　理事長　高良 恵一

「基金レポート 2020」をご覧の仲間の皆さん　こんにちは!

はじめに、今年 4 月より本基金の名称が、「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」へと改称しましたことをお知らせいたします。

これまで、ご理解とご協力をいただいています皆さんに感謝と敬意を表しますとともに、今後とも本基金への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、「新型コロナウイルス感染症」の猛威は止まるところを知らず、沖縄県においては、人口比で全国最多の勢いで感染が拡大し、収束に向けた沖縄県独自の「緊急事態宣言」が発せられているところです。

皆さんの家庭や職場においても大変心配なことであり、感染予防や拡大防止のため様々な対策に取り組んでおられることと思います。

また、企業への営業自粛要請による経済の縮退傾向は必至であり、今後、更なる労働・生活環境への悪影響が強く懸念されます。

私たちが、これまで取り組んできた「子どもの貧困問題の改善」に向けて、困難な状況が立ちふさがって来ることは想像に難くありません。

「頑張ろう!」の強い思いを持ち、今こそ「ろうきん　こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の真価を発揮する時との思いを合わせ、一丸でこのコロナ禍を乗り切っていきましょう!

本基金に賛同いただいてきた仲間の皆さんに、「共助・共感の輪」を強く大きく広げていく取り組みに、あらためてご理解とご協力をお願い申し上げます。

沖縄の子どもたちの「ゆめ」と「みらい」へ

子ども達にとっては、自分を好きと言える環境が必要

子どもたちの、今

内閣府が公表した子どもの貧困の背景を探る「子供の貧困実態調査に関する研究　報告書」では、教育に関する将来展望について「将来の夢の有無に大差はないが、進学費用の問題から親子ともに４年制大学等の高い教育水準に対する希望が低い」調査結果となっています。また、生活環境に関する居場所や人間関係について子どもは「一人でいることが多く（特にひとり親家庭）、大人への信頼感が低い」としており親は「学校行事への参加が少なく、困った際に助けてくれる相手が乏しい」ことや親子関係についても「保護者が子と過ごす時間が少なく、十分であると感じていない」と答えています。

「ゆめ」への希望はあるが、貧困を理由にあきらめないといけない状況や疎外感からいじめ・不登校へつながる状況にも間接的に影響していることがうかがえます。

また、１年間に医療機関を受診させられなかった子どもの割合は、困窮世帯では約３割に上るなど、健康についても経済的理由で大きなリスクを抱えざるを得ない沖縄の子どもたちの割合の高さが際立っています。

子どもたちの教育や生活を取り巻く厳しい環境が本報告書等にも表れています。

働く仲間の、今

「子どもの貧困」の背景には、沖縄県の特徴としての「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」など伴走型支援の取り組みが必要です。

子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ

〈（公財）沖縄県労福協〉、〈連合沖縄〉、〈こくみん共済 coop（全労済）指定整備工場沖縄県協議会〉、〈ろうきん〉、〈こくみん共済 coop（全労済）〉は、「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

共助・共感による共生社会の実現に向け、全県的な運動をめざし取り組みを進めています。

基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの就学・就労支援および生活支援等	→ 親（世帯）の収入の安定化へ
職業資格取得等にチャレンジする就学生（職業高校等の高校生）への支援	→ 資格を持つことによる希望職種（夢）への就職支援
児童園等福祉施設退所者への自立支援	→ 社会に羽ばたく際の公的支援が及ばない部分のサポートなど

基金活用による支援取り組み事例

事例1 生活安定化支援

出産医療費、支援機関との信頼関係構築

申請時の状況

- 本人と子ども4人、実母と実兄の7人世帯。
- 元夫との間に3人、パートナーの子どもを妊娠したことで、児童扶養手当停止。
- そのことが原因でパートナーと破局。元夫及びパートナーからの養育費なし。
- 不登校気味の長男のケアで休みが多く、フルタイムの仕事が難しい。
- 本人及び家族は行政への抵抗感がある。
- 出産医療費の支払いをしなければ、出産一時金余剰額の申請ができない。
- 基金申請により、出産医療費を支払い、今後の生活安定のために出産一時金受給手続きを早急に進めたい。

その後

- 出産一時金申請をすることができ、12月に受給。落ち着いて育児ができている。また、母1人、子4人が安心して生活ができている。

事例2 通信手段の支援

就職活動への支援として企業実習へ繋ぐ携帯電話貸し出し

申請時の状況

- 本人と息子1人の2人世帯。
- 移動手段がなく病院へ行けず、持病が悪化し体調不良のため、出勤できず退職。
- 家賃や国保税の滞納あり。
- 息子は小・中学校の不登校で発達障害のグレーゾーンとして支援され、息子名義の借金あり。
- 就労準備講習から企業実習へ繋ぐ段階だが、携帯電話の準備ができない理由で滞っている状況。
- 就職活動の支援で、企業実習に繋ぐにあたり携帯電話の所持は必須であり、自立に向けた支援を希望する。

その後

- 本人との連絡が取りやすくなり、仕事もすぐに決まった。

事例3 資格取得支援

就職に必要な運転免許証取得の為の自動車学校費用

申請時の状況

- 本人と姉、叔母と従妹の4人世帯。
- 両親はそれぞれに借金や生活のトラブルを抱え、父親から性的虐待の被害有。(現在、接近禁止命令)
- 小、中学校では不登校。現在は叔母宅で生活し、定時制高校通学中。
- 県外就職に向け、児童扶養手当を運転免許取得の為に貯金していたが、父に使われてしまう。
- 就職も決まり運転免許が必須なため、自立に向けた支援を希望する。

その後

- 心配事が減り、心にゆとりができ、無事卒業。立派な社会人として自立

事例4 就職活動支援・生活安定化支援

多子世帯、就労開始、初回給与までのつなぎ支援

申請時の状況	●本人、妻(現在妊娠7ヵ月)、長男、次男(発達障がい)、三男、長女の6人世帯。 ●県外から、知人の紹介でホテル建築の仕事に携わる予定で移住。 ●移住して知人と音信不通。 ●元々自営業で土木建築業を営んでいた為、住居確保給付金などの申請に時間を要していた。 ●技術がある為就職は決まったが、初回給与まで約2ヶ月かかる。 ●緊急小口融資の申請やフードバンクを活用しながら、初回給与までの生活安定に繋げたい。
その後	●現在の仕事を3月で退職。4月より石垣島へ移住

事例5 子どもへの支援

子の入学準備用品の伴う生活支援

申請時の状況	●本人、妻、長女、長男の4人世帯。 ●自己都合で退職し、雇用保険と妻の収入(A型就労支援事業所で勤務)や障害年金で生計を維持。 ●雇用保険の支給が終了し、長男の高校入学での必要費用の捻出が困難。 ●常用就職及び就労定着に至らず生計が崩れている状況。 ●常用就職先を確保し、子どもの就学環境の整備に繋げたい。
その後	●必要な学用品の購入ができ無事学校に通える状態になる。

事例6 就学と子育ての両立

スクーリング時の一時預かり支援

申請時の状況	●本人、長男(アルバイト中)、長女、次女、次男の5人世帯。 ●平日6時間、調理の仕事を就労中で日曜日は学校に通っている。 ●下の子の子育ては祖父や長女が行っているが、出来ない場合は長男がアルバイトを休んでいる。 ●中卒のため、子供が小学生になり勉強が大事だと思い、資格取得を考え高卒の資格の必要性を感じ、安心して通学できる環境作りに繋げたい。
その後	●2年進級し、将来に向け就職の幅が広くなった。 ●長男の負担が軽減された。

事例7 職業高校・資格試験

高教組との連携

申請時の状況	●本人、父、弟の3人世帯。(兄が県外で就労中) ●父子家庭で父親のみの収入のため、高校入学当初からアルバイトをし、またほとんどの家事を担っている状況。 ●家事やアルバイトの時間で家庭での学習時間の確保が難しく、検定料も本人が負担しており、経済的な負担から挑戦できない状況。 ●将来学校で学んだことを生かせる仕事に就きたいとの希望あり、資格取得は欠かせない。少しでも学習に向き合える環境を整え、自信をもって就職活動に臨めるように繋げたい。
先生方からの声	●アルバイトと部活で学業の時間がない為、基金を活用。経済的負担を減らし学業に時間が割ける様、資格取得することで、将来の就職の選択の幅が広がる。

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」組織的支援機関※向け アンケートより皆さまからの声（一部抜粋）

※組織的支援機関とは、本来業務として継続的な就職・生活支援をしている機関・組織です。基金の利用は相談者の自立まで支援を行うことを前提に、組織的支援機関との共同申請が必要です。

1 活用前後で自立に向けて改善しましたか？

①改善した　＝　61　　②改善していない　＝　5　　③その他　＝　2　　合計　＝　68

2 改善したと回答した方へ　どのような状況でしょうか？（複数回答可）

① 就職して生活が安定している	19
② 増収している	8
③ 就職しているがまだ厳しい状況	8
④ 就職活動中	5
⑤ 資格を取得した	10
⑥ 子が進学し通学中	7
⑦ その他	30
合　計	87

【⑦その他】と回答した方たちの状況

◆子どもはこれまで以上に部活動を積極的に頑張っています。
◆活用後、出産一時金申請をすることができ、12月に一時金受給。母1人、子4人が安心して生活ができるようになった。
◆子の支出を補えて就学環境が整った。
◆体調不良で就労ができず、傷病手当の受給も時間がかかるため、生活費として申請した。金銭的な不安も体調不良に繋がっていたことから、ゆめ・みらい基金の支給を受け毎月の支払いにも目途がつき精神的にも安定した。現在は、体調を見ながらだが少しずつ就労再開ができている。
◆就学援助ゆめ・みらい基金により子が修学旅行にいくことができた。
◆卒業単位が認定され9月30日無事卒業。
◆免許取得に向けて、教習所に通っています。
◆無事に転居ができて、親子で新しい生活のスタートができた。子どもも新しい学校で楽しく過ごす事ができている。
◆滞納していた学校関連費用の支払いができたため、本人が学校職員と相談しやすくなり、心理的負担も減った。子どもも学校行事への参加がスムーズになって助かった。
◆当事業所を利用し転居、生活環境を整えるために活用させていただきました。気持ち新たに自立に取り組んでおります。
◆保育所に通うことができた。
◆出産一時金受給までの生活費に充てることができ、三つ子を安心できる環境で育てていけている。
◆子どもを保育園、児童デイへ預けきちんと就職することができた。
◆家賃の滞納がなくなった。
◆転居による生活改善（子の転校）。

3 改善していないと回答した方へ（現状や支援状況）

◆障がい年金の手続きは、やっと資料提出等が完了したのでもうすぐ受給できるとのこと。高次脳機能障がいの娘も収入はあるが、光熱費の支払いもしてくれないので、分かってもらうために電気が止められるまで支払いせず、様子を見ることもあり根気勝負と娘との葛藤を話される。障がい年金が受給できたら生活も安定してくると思われる。
◆交通事故により、回復できず、仕事につけなかった。現在、生活保護受給中。
◆申請者が体調を崩し、支援の再構築を検討中。
◆基金での支援とは別件で世帯支援を継続中。
◆生活が緊迫しており他の支払い（子の医療費）に充ててしまった。

活用者の声

【生活安定】

◆病院への受診ができたことで、精神的に楽になった。（お金がなく病院へ行くことができなかった）
◆家賃未払い分に充てることができたので、すごく助かりました。
◆自己破産を申請したことにより、手持ち金のみで生活しなければならず、高額な自動車税を支払う余裕がなかったため感謝してる。
◆ゆめ・みらい基金のお陰でガス料金を支払いし、温かいお風呂に入ることができたので感謝しています。

【仕事・就学と子育ての両立】

◆お金のことが常に不安で仕方がなかったが、基金を利用できたことで落ちついて育児ができている。
◆求職活動中に子どもの学習の支払いや、生活費が足りず困っ

て相談しました。その後就職も決まり、ゆめ・みらい基金のお陰で厳しい状況を乗り切る事が出来ました。

◆収入が安定せず、娘と二人で生活することが精一杯で給食費を支払えずにいました。そんな中でゆめ・みらい基金に助けていただきました。現在は収入も生活も安定しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思います。

◆娘の高校合格は嬉しかったが、お金に余裕がなく内心諦めてくれないかと思ったほど苦しかった。ゆめ・みらい基金を活用できたことで、娘が真新しい制服で毎日、高校生活を頑張っている姿を見て、この制度にすごく感謝しています。

◆離婚して間もないころでどのように子どもたちと生活していけばいいのかと思っていた時にゆめ・みらい基金のおかげで子供たちは、保育園に入ることができ安心して仕事をすることができた。

【子どもへの支援】

◆子どもが部活動で全国大会出場が決まったのですが生活が厳しい為遠征費用が払えず困ってました。ゆめ・みらい基金のお陰で出場できて、上位入賞することが出来ました。長女共々感謝しています。

◆他の子と同じように学校行事に参加することができた。

◆ゆめ・みらい基金を給付して頂いたお陰で制服を用意することができて、毎日元気に登校しています。子ども達の笑顔を守るためにもゆめ・みらい基金の認知度が上がり、必要とされる家庭が今後も利用できるよう願っています。

【資格取得】

◆相談ができなかったらと思うととても怖く感じます。支援を受けて今は、夢の第一歩である資格試験へも挑む環境が整って、最近の試験では自己ベストがでました。学校生活でも生徒全体への発表など積極的に機会を持ち、有意義に過ごしています。

◆基金は講座への通信費として利用できて資格取得ができた。その資格を活かして仕事ができるので少しずつ貯金もできている。

【その他】

◆この制度を知らなかったら、きっと立ち止まっていたと思います。心から感謝します。

◆このゆめ・みらい基金は働いている皆さんの寄付でやっていると聞きました。自分も働いて寄付する側になりたいと思います。本当にありがとうございました。

◆なかなか人に相談出来ない内容で困っていたが、今回こうやって支援してもらい、家族一同喜んでいる。助かりました。

◆審査で決定したと聞いた時は嬉しさのあまり涙があふれ感謝の言葉しか出なかった。今後はしっかり子どもを育て未来を担う大人になれるようサポートしていきたい。

◆自分は社会から見捨てられていると思っていたようで、このような制度があることに驚いておりました。

◆「これからどうしよう」ととにかく不安に感じていたが、ゆめ・みらい基金を活用したことで「これから」に対して少しだけ気持ちが明るくなり、希望が持てるようになった。

支援機関からの声

◆キャリア携帯では滞納があり契約が厳しい状況でした。本人に連絡を取りたくても電話がない為、訪問して連絡する形でしたが、プリペイド携帯の貸し出しで、仕事もすぐに決まり、スムーズに支援ができるようになりました。

◆相談者の安心感のために金銭的な支援が必要だったが、利用できる公的制度がなかった。そんな中で、ゆめ・みらい基金は非常に助かった。

◆親御さんの意識も子どもさんの意識も変わり、将来に向けての一歩を踏み出す事が出来て良かったです。

◆自身で貯めた進学に必要な研修費用を家計に使われ、夢を叶えることと学業継続が困難な状況で当センターへ繋がってきた。相談の中で本人の日頃の頑張りと夢を応援するかたちで給付が決まり、積極的に学ぶ姿勢を持ち学業継続を行っている。公的サービスでは手の届かない案件だが、一人の人生を大きく左右する状況には間違いなく、ゆめ・みらい基金の柔軟性かつスピーディーさは多くの人を救える救世主だと思う。

◆生活困窮者が様々な悩みを抱えている中で、ゆめ・みらい基金を利用することにより悩みが1つ解消されることで心に余裕がうまれ、落ち着いて他の悩みの解決に取り組む事が出来ると感じた。

◆本校には、仕事、学業、家事（育児）をこなしている生徒が多く、支給されたことで、認めてもらえたという証にもなりより前向きに取り組めていると感じている。

◆あと一歩で先へ進めるといった相談者にとって光のように感じたと思う。

◆生活福祉基金等の借り入れも難しく、借りても債務を増やすことはその後の生活自立には負担となることが見込まれたので、給付であるこの基金は本当に助かりました。その後の申請者の生活が前向きに落ち着くことにも繋がり、ありがたい事業だと思います。

◆他法制度に該当しない状況の中で、ゆめ・みらい基金を活用しての世帯支援を行うことで、安定した生活や学校生活を送ることが出来ている事に感謝しております。

◆子どもの部活費用は他制度には該当せず、貴基金を活用させて頂きました。生活費がギリギリのなかで、遠征費用を賄うには厳しい世帯でした。子ども達の学校生活を充実させる為の部活動は重要だと思います。今後も必要な世帯へ貴基金が活用できるよう案内していきたいと思います。

◆早急に対応が求められるなか、現在ある社会資源のほとんどは時間がかかり、問題の解決にはあきらめるか、妥協せざるを得ない為、ろうきんの「ゆめ・みらい基金」は救世主的支援です。

◆5人の子を抱え、離婚直後の母子家庭でしたが、入進学の準備金として大変助かったと思います。社会の温かさが伝わる支援を今後ともよろしくお願いします。

◆困っていることの“今”に手が届く、大変心強い基金であることを強く感じています。

2019年度「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

（2019年4月1日～2020年3月31日）

基金の残高

【収入】

項　目	金　額	内　容
前期繰越金	16,446,509円	
団体寄付金	2,488,279円	各労働組合、ろうきん各地区推進委員会、スーパー駅伝大会
個人寄付金	4,150,437円	
ろうきん社会貢献寄付商品拠出金	1,116,400円	
こくみん共済 coop 沖縄推進本部 社会貢献寄付商品拠出金	1,187,100円	
こくみん共済 coop 指定整備工場沖縄県協議会	413,700円	各指定整備工場の車検入庫分
合　　計	25,802,425円	

【支出】

項　目	金　額	内　容
（使途別）		
①移動手段	218,061円	14件
②通信手段	64,102円	4件
③資格取得	249,200円	9件
④就職活動支援	62,122円	5件
⑤就労開始・初期	70,000円	3件
⑥生活安定化	2,857,777円	57件
⑦子育てと仕事の両立	38,680円	2件
⑧子どもへの支援	1,315,436円	30件
⑨就学と子育ての両立	1,824,952円	12件
⑩職業高校・資格試験	149,553円	31件
⑪その他(助産費用滞納分)	70,000円	1件（切手代・助産費用滞納分等）
⑫移動手段（貸出）	21,960円	1件（自転車の貸し出し）
⑬通信手段（貸出）	0円	1件（就職活動用プリペイド携帯の貸し出し）
⑭パソコン貸出支援	0円	（就職スキルアップのためのパソコン貸し出し）
小　　計	6,941,843円	170件（131名）
（その他）		
消耗品費	3,084円	
通信運搬費・燃料交通費	17,866円	お礼状送付切手・高速料等
会議費	24,000円	
保険料・雑費	7,256円	自転車利用時傷害保険料・振込手数料等
小　　計	52,206円	
合　　計	6,994,049円	

【収支計】

収　入　計	25,802,425円
支　出　計	6,994,049円
繰　越　金　額	18,808,376円

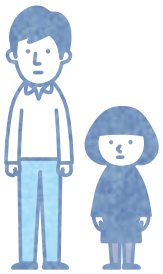
申請者地区別一覧

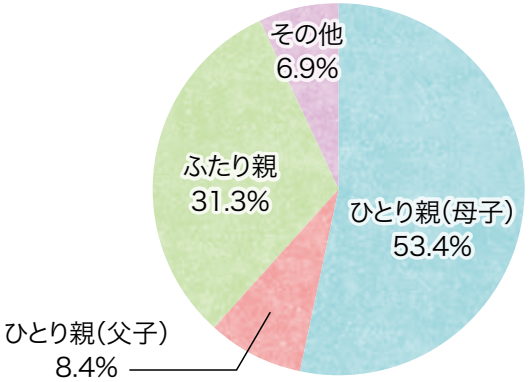
北　部	中　部	南　部	宮古･八重山	合　計
44名	40名	38名	9名	131名

北部地域	人数	中部地域	人数	南部地域	人数	宮古･八重山地域	人数
名護市	29	北谷町	11	那覇市	17	八重山	9
本部町	8	沖縄市	6	浦添市	8	宮古	0
国頭村	3	うるま市	6	糸満市	4		
金武町	2	宜野湾市	5	豊見城市	3		
今帰仁村	2	読谷村	4	南城市	2		
大宜味村	0	北中城村	3	南風原町	2		
宜野座村	0	西原町	3	与那原町	1		
東村	0	嘉手納町	1	八重瀬町	1		
恩納村	0	中城村	1	久米島町	0		
伊平屋村	0			渡嘉敷村	0		
伊是名村	0			座間味村	0		
伊江島村	0			粟国村	0		
				渡名喜村	0		
				北大東村	0		
				南大東村	0		

申請者世帯別割合

1. ひとり親(母子･父子合わせて)　81件　―　一人親の経済状況の厳しさ
2. ふたり親　41件　―　両親共働きでも十分に生活できる所得がない家庭の現状
3. その他　9件　―　親の育児放棄で祖父母が養育している家庭の存在





主な申請機関

1. 生活困窮者自立支援事業（名護市、うるま市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市、豊見城市、南城市、各町村）
2. 高教組（各学校の先生方）
3. 社会福祉協議会
4. ゆいはぁ～と（南中北部）
5. 母子生活支援施設
6. 労福協自主事業

基金によせられた声

支援を受けたかたから

母子家庭になり、光熱費などが滞納し
とても生活に困っていました。
「ゆめ みらい基金」がなかったら今どんな生活を
しているのか想像できません。
当たり前のことだけど、家があり、でんきがついて、
おふろに入る、毎日ごはんを食べる。
今、子供たちと一緒に笑顔で毎日を送れるのは、
ゆめみらい基金を支援していただいて、
前向きに前に進むチャンスをくださり
本当に感謝しています。
ありがとうございました。

母子家庭で3人の息子達が居ます。母一人の生計で小学生から高校生の男の子の通学や日常生活、部活動にかかる費用が追いつかず又、遠征費用を準備する度兄弟に我慢をさせ続けた事…ふり返ってみると その積み重ねが息子との関係がねじれ傷つけていたのかもしれないと思いました。　この度「ろうきん全労済働く仲間のゆめ、みらい基金」のお陰で生活費の補充、子ども達の部活遠征費の一部などに大切に使わせていただきました。ただただ感謝の気持ちしかありません。　寄付をして下さっている組合様、支部様、団体様、保育園様、教会様、個人の皆様本当にありがとうございます。　又、このような制度を取り行っている運営事務局様や関わって下さっているすべての方々ありがとうございます。皆さまの善意を無駄にせず、息子達の夢と未来に向かって親子で頑張りいつか必ず社会へ恩返しできるよう頑張ります。

感謝

言葉とは難かしいものでさらに文章にするのはもっと難かしいものです。初めに"給付金を私達親子の為に支援して頂きありがとうございます。
今回、私達親子というか私自身、沢山の方々に助けられました。振り返れば、2年弱…1才近い娘を連れ、友達の家を転々、車中泊を繰り返し、生活をして来ました。
今年の5月から、これではダメだと思い、離婚という型をとり、友達の家に住所を置かしてもらったきっかけから、児童福祉の担当の方からの一声で、色々の支援団体さんから手助けを頂き今の生活をする事ができました。
本当にありがとうございます。
これからはきちんと職に敷き、子を学校へ通わせしっかりとした生活。親子二人三脚で頑張って生きていこうと思っています。

本当に、6万円という大きい給付金、ありがとうございました(>人<)離婚したばっかりで、2人の子供もいて、本当に、どうしていいか分からない状況の時に、6万円という大きな額を、本当に無料でくれて、「ありがとう」の言葉以外あるのなら、教えてほしいぐらいに、本当に感謝しています。この6万円で、家賃&アパートの名義変更で、10万円という大きいお金をどう支払えばいいのか、ずっと、どうしよう。どうしよう。って考えていたのですが、この6万円で、支払いにあてる事ができました。本当に、そっから、生活を立て直す事ができて、今では、子供2人と、楽しく生活をおくる事ができています☺本当に感謝、感謝です！私は、今、毎日、仕事と育児におわれる生活を送っていますが、本当に、あの6万円があったこそ、今楽しく生活できていると思っています(*'ω'*)ノ本当に、私達家族を助けてくれて、ありがとうございました。

ゆめ・みらい基金のお陰で、新しく人生を立て直す事ができました。離婚をようやく踏み切ったものの、扶養手当が頂けるまで約4カ月とても生活が苦しく、その矢先、安いアパートも見つかり、苦しいながらも、色々な手続き借り入れ等を乗り越え「がんばるぞ!!」っと思っていた所、退居費が思っていた以上にかかるという事、その上長男の修学旅行費と…どうしようかと、とても落ち込んでいた所へ、ゆめ・みらい基金のお話を頂き、助けて頂き、ありがたすぎて言葉がみつからない程でした。このゆめ・みらい基金を作って頂いた方、携わっている方にとても感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

ゆめみらい基金を利用して滞納していた光熱費を支払うことが出来て止められていたガスも使えるようになって料理出来なくて困っていたのと冷たいシャワーで、体息が気になったりとしていたことが、解消されて本当にありがたかったです。

アレルギーやうつ病で、体調を悪くしてしまい仕事もなかなか出来なくてそのな時、会社の経営が悪くなり退職せざるおえなくなり、体調も悪化で、転職先を探すのも困難で娘との仲もかかしくなり生活も狂いはじめパーソナルサポートで相談してゆめみらい基金の存在を知りました。

今では、生活少しおちつき転職先も決まり、狂いはじめていたことすべてが、良くなっていきました。お金での不安も消え、精神的な面も安心していろいろ頑張れています。

本当に、支えてくれたパーソナルサポートの方々とゆめみらい基金には、感謝してます。ありがとうございました。

今回、ゆめ・みらい基金の給付ありがとうございました。

私は、体調をくずしてしまい、仕事を長期でお休みする事になり、収入がなく生活に困っていました。

子供が2人いて、育てていかないといけない中、とても困っている所、ろうさんさんのゆめ・みらい基金の給付を頂きとても助かり前向きに生活する事ができました。

皆さんのおかげで、私たち一家は金銭的にも精神的にも救われました。

本当にありがとうございました。

これからも、困っている人達のために活躍していく所を陰ながら応援しています。

支援して頂いた事を忘れずに、これからも頑張っていきます

支援機関の方から

当初、家賃が2カ月滞納してガスなども支払えずに困窮されている利用者さんが来所されました。
住居確保給付金で、家賃の給付があったとしても、滞納分には充てることができず、生活費の支給もない為、就職活動に支障をきたしていました。
ゆめみらい基金の給付を受けることで、スムーズな支援をすることができ、本人も安心して就職活動に専念し、無事採用が決定することが出来ました。
現在は、しっかりと生活を立て直せています。
ゆめみらい基金は、利用者だけでなく、支援する私達も本当に助かっています。有難うございました。

今回、ゆめみらい基金の相談をして決定をもらった事で、相談者が安心して、更に希望をもって生活が送れたと話してくれました。
若い夫婦が、親や兄弟、叔母さんや祖母の生活の一切を賄っていて、その為に借金をしていました。生活を切り詰めて返済していたのと債務整理を同時に行い、月の返済が半分になりました。
また、子供の為に、ゆめみらい基金を利用する事が出来て良かったと思い、支援者の立場からも、感謝の気持ちで、いっぱいです。

今回は給付の決定、本当にありがとうございました。本人さんもとても喜んでいました。私達、児童家庭課では困窮世帯に対する金銭給付の事務サービス等を持ってないうえ、食料支援等でしか支援ができません。その為、今回のような家賃支払い等の相談を受けた際も当初、どのような支援をしたらよいか分かりませんでした（住居確保給付金も非該当）。その中で、ゆめみらい基金という無返済、無償の給付金を受けられたことで、当事者はもちろん、児童家庭課としても助かりました。ありがとうございました。また、お世話になることがあるかもしれないので、よろしくお願い致します。

相談者は、母子世帯で離婚して間もないため児童扶養手当などの受給もまだである。貯蓄もなく元夫からの養育費なども確実には、約束されていない状況があった。また、子どもの保育園入学が4月であり、就労もできなかった。
基金を通して、不安であった家賃の支払いや保育園の入園準備など母子でのスタートするための大きな助けとなり、相談者共に、本当に感謝しております。
今後も関係者との連携をはかり、母子で地域で安心して暮らせるよう見守っていきたいと思います。
本当にありがとうございました。

私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

2018年度 団体寄付一覧

連合沖縄那覇　南部地域協議会
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
第一労働組合
沖縄富士通システムエンジニアリング労組
沖縄電力生活協同組合
琉球セメント労働組合
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
中部観光バス労働組合
高教組　宮古支部
リウボウ商事労働組合
沖縄ターミナル労働組合
沖縄電力関連産業労働組合総連合
沖縄県教職員組合国頭支部
琉球製罐労働組合
西表島交通労働組合
学友館共済会
こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部
こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会
おきさん労働組合
連合沖縄
読谷村職員労働組合
一般社団法人　沖縄全逓共済会
沖縄県教職員組合那覇支部
全糖労久米島製糖支部
沖縄県教職員組合
北谷町職員労働組合
運輸労連沖縄県連合会　定期大会
コザ地区ろうきん友の会
沖縄県職連合宮古支部
労福協共済会
沖縄県市町村職員共済組合職員労働組合
沖縄県教職員組合島尻支部
沖縄県職連合・全水道沖縄県企業局労組
沖縄県教職員組合八重山支部
国頭村役場職員互助会
日本トランスオーシャン航空労働組合
航空連合沖縄
公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会
沖縄都市モノレール労働組合
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
公立はこだて未来大学　マリンITラボ
マリンITワークショップ2019いしがき
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部

2019年度 団体寄付一覧

全糖労石垣島製糖支部
地域むすびくらぶ
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
沖縄電力生活協同組合
沖縄県教職員組合八重山支部
沖縄電力労働組合　名護分会
琉球セメント労働組合
沖縄県教職員組合国頭支部
沖縄電力労働組合
ろうきんおもろまち地区推進委員会
沖縄県教職員組合島尻支部
マルヰ産業労働組合
沖縄県教職員組合那覇支部
琉球新報発送労働組合
(公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
琉球製缶労働組合
ありあけ保育園互助会
全糖労久米島製糖支部
ホテルアリビラ労働組合
沖縄県職員退職者会
西表島交通労働組合
北部地区労働組合協議会
沖縄プラント工業労働組合
沖縄ブルーシール労働組合
北谷町職員労働組合
沖縄電力関連産業労働組合総連合
県職連合宮古支部　青年部
運輸労連沖縄県連合会
ろうきん普天間地区推進委員会
読谷村職員労働組合
ろうきんコザ地区推進委員会
全労済沖縄推進本部(防災カフェなんじょう)
ろうきん本店地区推進委員会
沖縄国際大学事務職員労働組合
スーパー駅伝大会実行委員会
ろうきん八重山地区推進委員会
自治労宜野湾市職員労働組合書記局
沖縄県労働金庫労働組合
本店・おもろまち地区推進委員会
ろうきん具志川地区推進委員会
ろうきん浦添地区推進委員会
沖縄県教職員組合
日本労働組合総連合会沖縄県連合会
航空連合沖縄
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
社会福祉法人名護市社会福祉協議会互助会
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
沖縄ヤマト運輸労働組合
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合北部支部

2020年度 団体寄付一覧 8月現時点

沖縄県教職員組合国頭支部
沖縄電力関連産業労働組合総連合
沖縄電力生活協同組合
マルヰ産業労働組合
ハコニワ
沖縄県労働金庫労働組合

定額自動寄付による支援団体

全労済労働組合九州支部沖縄分会
NPO法人　街のえんがわ山桃
地域むすびくらぶ
沖縄県労働金庫労働組合
沖縄電力労働組合
沖縄県職労　北部支部　北部病院分会
オリオンビール労働組合
高教組　北部支部
沖縄県職労　宮古支部
全糖労宮糖支部
全糖労沖縄製糖支部
沖教組　宮古支部
自治労石垣市職員労働組合
八重山地区労金友の会
やんばる麦の芽会
自治労連宮古島市職員労働組合
沖縄県労働金庫共済会
那覇市市職労　水道支部

支援団体(預り保育場所提供)

宜野湾ナザレン教会

(申込み受け付け日順／公表を希望しない団体をのぞきます)

〈0150（マルイチゴウマル） ゆめ・みらい運動！〉にご参画をお願いします！

〈0150（マルイチゴウマル）　ゆめ・みらい運動！〉とは、「1人一口50円（月額）の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう！」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

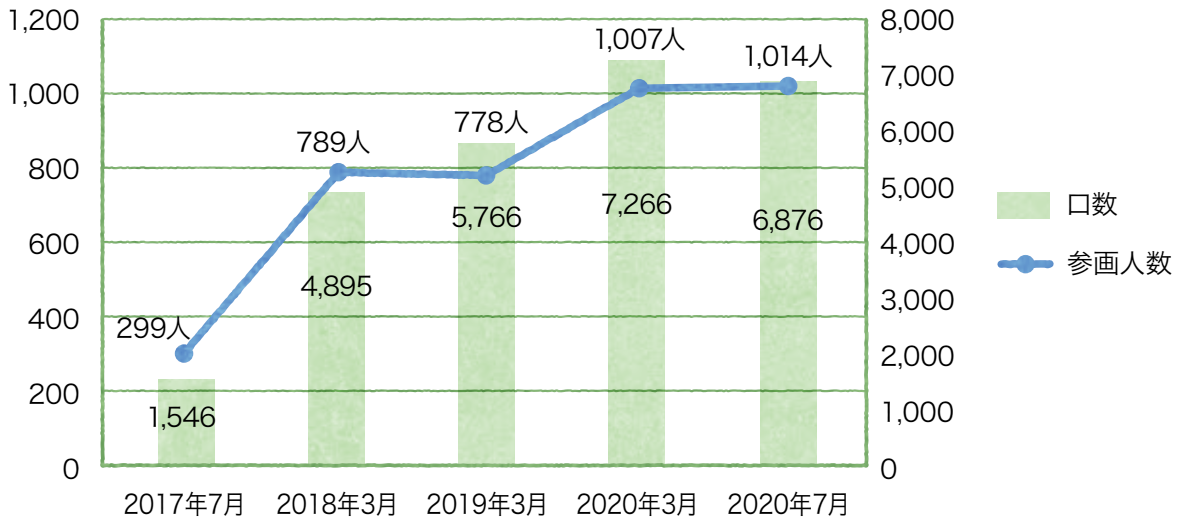
2019年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計3,962,450円（2019年4月～2020年3月）の寄付がよせられ、2020年3月現在では「7,266口（月額363,300円）」のお申し込みをいただいております。運動に参画いただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop（全労済）沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口（月額50万円）」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」＝ 毎月ご希望の寄付額（1口50円とした定額）を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

目標 1万口!
（月50万円・年間600万円）

達成することで、基金の安定運営と、
会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!



各会員・協力団体構成員（組合員・共済会員等）への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく（缶ジュース1本程度の節約で）参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会（総会）議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

（〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop（全労済）沖縄推進本部〉・〈沖縄県労福協〉）のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。）

労働者福祉事業をつうじた社会貢献

●本取組による寄付金の贈呈については2020年9月以降に予定しております。

ろうきんの取り組み

◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2019年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規ご利用1件につき200円を〈ろうきん〉が負担し、総額1,465,000円(7,325件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、4,887,400円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

対象商品の新規ご契約1件につき、200円を当金庫が負担し、本基金へ拠出します。

預金商品・私的年金制度商品	財形貯蓄、エース預金、iDeCo（イデコ※個人型確定拠出年金）
融資商品	教育ローン、福祉ローン、カードローン、自動車ローン

◆ わしたシマづくり運動

沖縄ろうきんATM、または提携するイオン銀行ATMやセブン銀行のお取り引き(お引き出し・ご入金取り引き1件につき2円)に応じて、寄付金額を積み立て、地域で活躍する非営利団体等や「ろうきん　こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付することでその活動を支援しています。

2019年度実績　992,752件　（非営利団体：1,000,000円、基金：985,504円）

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部の取り組み

◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品(慶弔共済・自賠責共済を除く)の事業年度あたりの新規契約件数に対して100円の寄付を実施します。

2019年度につきましては、総額1,351,300円の寄付金を実施します。

また、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会でも組合員の車検入庫1台につき100円を工場が寄付する取り組みを行っており、2019年度は、総額408,900円の寄付を実施します。

※こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場はP15で案内しています。

「共助」が「共感」により支えられ、「循環」する共生社会へ

お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、子どもたちを笑顔にできない

ゆめ・みらい基金による支援を受けられ方方へ

ゆめ・みらい基金は、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの思いがつまった基金です。

ゆめ・みらい基金での給付と関わっている支援者のサポートを組み合わせることで「働くこと」や「安定した生活」、子どもたちの「ゆめ・みらい」への１歩につながっていきます。そして、支援を受けた方の生活が安定し「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となります。ぜひ、本冊に掲載されている0150運動（定額自動寄付）や〈ろうきん〉・〈こくみん共済 coop〉の取組を読んでいただき、出来る範囲で“心と心をつなぐ”共助拡大の運動にご参画ください。

2016年9月、会員団体・県内各労働団体とともに、「ろうきん働く仲間のゆめ・みらい基金」を創設しました!

基金を支援しているみなさまへ

はじめに0150ゆめ・みらい運動への参画をはじめ、日頃より支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。皆様からの心のこもったご支援が、多くの困難な状況の中にいる方々の生活の改善に繋がっています。皆様一人ひとりのできる範囲の協力が、大きな力になり、子ども達の自立への一助となっています。

「子どもは、沖縄の次世代を担う宝です。」

運営事務局として、皆様の思いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちが辛い環境で多くのことを諦めることが無い社会、誰もが夢や希望を持ち、みらいへの可能性を広げられる社会となるよう取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

基金運営事務局　（公財）沖縄県労働者福祉基金協会

八重山地区推進委員会

沖縄電力総連より贈呈式

こくみん共済 coop NEWS

子どもたちに笑顔をひろげたい!

ろうきん こくみん共済 coop
働く仲間のゆめ・みらい基金
―子どもは私たちの、ゆめ・みらい―

検索 ゆめ・みらい基金

ゆめ・みらい基金の詳細がご覧いただけます。

「働く仲間のゆめ・みらい基金」は、「働く(自立)」につなげていくことを基本に以下のような支援に取り組んでいます。

- ＊養育する子がいる世帯の親などへの就学・就労支援および生活支援など
- ＊職業資格取得等にチャレンジする就学生(高校生)への支援
- ＊児童園等福祉施設退所者への自立支援

沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」は、車検入庫1台あたり100円を子どもたちの未来のために寄付します。

沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」で車検を受けていただくことにより、沖縄の子どもたちの支援に役立つことができます。

預けて安心、こくみん共済 coop〈全労済〉25の指定工場ネットワーク

★浦添市と八重瀬町に新たな指定整備工場ができました!!

預けて安心、こくみん共済 coop〈全労済〉25の指定整備工場ネットワーク

那覇市

(資)新興自動車商会
〒900-0011 那覇市上之屋311
☎ 098-868-2821
エネオス天久店給油所隣

(有)久茂地オートサービス
〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1
☎ 098-861-7482
ゆいレール美栄橋駅北口

豊見城市

海邦オートサービス
〒901-0231 豊見城市字我那覇666番地
☎ 098-987-1434
県道256号線沿い高速名嘉地インター出入口近く

浦添市

(株)ヒーロー
〒901-2101 浦添市西原6-1-6
☎ 098-878-4444
和風亭浦西店ならび、浦西中道向かい

人情くるまや 三和自動車(株)
〒901-2101 浦添市西原1-3-3
☎ 098-877-2107
パークレーズコート道向かい

浦添市 NEW

(株)東日産自動車 車検のコバック浦添店
〒901-2125 浦添市仲西1-7-1
☎ 098-877-4003
キャンプキンザー仲西第1ゲート向かい

糸満市

南部モーターズ
〒901-0303 糸満市兼城339-1
☎ 098-994-6200
TSUTAYA糸満店2件隣

南風原町

(株)大橋自動車販売
〒901-1104 南風原町宮平345-1
☎ 098-888-2411
ジャスコ南風原店隣映画館道向かい

(株)南風原整備センター
〒901-1111 南風原町兼城526
☎ 098-888-1111
マックスバリュー一日橋店向かい

(株)禅自動車サービス
〒901-1117 南風原町字津嘉山1162-1
☎ 098-889-8810
南風原高校隣

八重瀬町 NEW

(株)ラッキー自動車商会
〒901-0417 八重瀬町外間169-1
☎ 098-998-8600
南部徳洲会病院ならび

南城市

(有)愛地モータース
〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1
☎ 098-949-7641
稲嶺十字路を船越小学校向け1.5km先右

北中城村

照屋自動車整備工場
〒901-2304 北中城村屋宜原226
☎ 098-932-0147
ライカム交差点から普天間向け150M左

西原町

(合)當山自動車販売
〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1
☎ 098-946-6468
動物病院22時近く

(有)大橋自動車販売
〒903-0121 中頭郡西原町字内間480-2
☎ 098-917-1033
ハートライフ病院近く

沖縄市

宮平自動車整備工場
〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17
☎ 098-937-9496
市民会館近く、中部観光バス左隣

うるま市

比嘉自動車整備工場
〒904-2224 うるま市大田500
☎ 098-973-5407
うるま警察署なため向かい

北谷町

ロータスゲイトワン整備工場
〒904-0111 北谷町砂辺365
☎ 098-936-2130
第一ゲート前、センターセービス給油所隣

嘉手納町

(有)ナカダ自動車商会
〒904-0205 嘉手納町字兼久370-1
☎ 098-956-4602
ネーブルカデナ道向かい

読谷村

喜友名自動車サービス
〒904-0322 読谷村波平1628
☎ 098-958-4885
タウンプラザかねひで読谷店信号をアリビラ向け100m右

名護市

(株)北部自動車工業(オートザム北部)
〒905-0006 名護市字茂佐1607
☎ 0980-52-0393
スーパーホテル信号を屋部向け500m左

宮古島市

ロータス東和オート
〒906-0012 宮古島市平良字西里894-2
☎ 0980-73-0505
BIG1からメイクマン向け300m右側

(株)エコ・ピット
〒906-0015 宮古島市平良字久貝686-7
☎ 0980-72-2045
ファミリーマート久貝店後ろ

石垣市

仲嶺自動車整備工場
〒907-0002 石垣市真栄里448-1
☎ 0980-83-1639
八重山保健所西隣

ロータス宮良自動車
〒907-0004 石垣市登野城869-5
☎ 0980-82-2216
「あこう木」斜め向かい

お気軽にお電話ください。
即お見積もりいたします!
●車検は1ヵ月前から受けられます。

●車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coop〈全労済〉の組合員です」とお申し出ください。●サービス内容は工場によって異なります。詳しくは工場にご確認ください。
●電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いにご注意ください。

ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金 定額自動寄付システムのご案内

（この用紙は、コピーしてご利用いただくことも可能です。）

本用紙に必要事項を記入いただき、お近くのろうきんまでご提出ください。

ろうきんにて、ご希望の金額の登録をします。

お申込みいただいた内容にもとづき、ご希望の寄付金額の登録を行います。
事務手続きのため、開始まで約1ケ月程度かかることがあります。

お客さまの口座から、口座振替を開始します。

お申込みいただいた内容で、ご寄付を開始します。振替日は25日です。25日がろうきんの休業日の場合は翌営業日になります。

■寄付金額等について

寄付金額設定は１回につき50円以上、50円単位でお願いします。
寄付を終了する場合（ご辞退）は、窓口まで届出をお願いいたします。
基金の継続的な運営支援にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

■口座振替手数料はろうきんが負担します。

通帳でご寄付内容をご確認ください。
通帳には「ユメ　ミライキキン」と印字されます。

■領収書の発行は控えさせていただいております。

基金運営に係る経費を削減し、寄付金を最大限支援に活用するため、領収書の発行は控えさせていただいております。確定申告等に使用するため、領収書をご希望の方は、通信欄にその旨をご記入ください。

※なお、ご希望された方の領収書については、毎年２月に前年１年分を取りまとめ、送付させていただきます。

ご辞退・（ご変更）は1ヶ月前にお届けください。

ご辞退や金額変更等は、届出をいただいてからろうきんの引落しが中止（変更）になるまで1ヶ月ほどかかります。お早めにお届けいただきますよう、お願いいたします。

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」定額自動寄付申込書

お名前	フリガナ																						
おところ	郵便番号				―					おでんわ（　　-　　-　　）													
	都道府県																						
	ご寄付月	1回ごとのお引落金額（50円以上、50円単位）								お引落回数		年間ご寄付金額											
		十万	万	千	百	十	円					百万	十万	万	千	百	十	円					
1	毎月							×		年12回	=												

通信欄（確定申告等に使用するため、「領収書」をご希望の方は、その旨ご記入ください。また、お申込みのきっかけや動機などについてもお聞かせください。）

20　　年　　月　　日

預金口座振替依頼書　沖縄県労働金庫　　御中　　収納企業（団体）名　（公財）沖縄県労働者福祉基金協会

	新規	本依頼書のとおり、私名義の指定預金口座から口座振替の方法により支払うこととしたいので、下記規定を確認のうえ依頼します。
	変更	今般、都合により本依頼書のとおり変更しますのでお届けします。
	解約	今般、都合により本依頼書のとおり解約しますのでお届けします。

収納企業（団体）名	（公財）沖縄県労働者福祉基金協会	金融機関届出印
フリガナ		
預金者名（法人の場合はお届けのとおりの代表者名も記入）		

金融機関名	沖縄県　　労働金庫					支店 ・ 出張所
預金種目	1. 普通（総合）				口座番号	
金融機関コード	2	9	9	7	支店コード	

寄付金（自動会計）

振替先名称	振替金額	備　考	自振コード
ろうきん　こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金	定額自動寄付申込書のとおり		47420028

振替日・払込日	25日（金融機関休業日は、翌営業日）

金融機関使用欄	（不備返却事由） 1.預金取引なし　3.印鑑相違 2.記載事項等相違　4.その他 ［店名、預金種目、口座番号、口座名義（備考）］　［　　］

検印	印鑑照合	受付印

（CIF:　　）

検印	精査印	取扱者印

（本部）

預金口座振替規定

1. 私が口座振替を依頼した表記の取扱いについては、私の指定預金口座から以下のとおり引落しのうえお支払ください。
2. 指定預金口座の残高が支払日において請求書または表記の記載金額に満たないときは、私に通知することなく請求書の返却、振替の中止が行われてもさしつかえありません。
3. 引落しにあたっては、預金規定または当座勘定規定にかかわらず通帳および普通預金払戻請求書の提出または小切手の振出はいたしません。
4. 私の指定預金口座からの引落しにあたっては、貴金庫所定の順位で引落してください。
5. 貴金庫の都合により、振替日に指定預金口座から引落しできなかったときは、この日以外の日に引落し振替えても異議ありません。
6. この預金口座振替契約を解約するときは、貴金庫所定の書面によりお届けします。なお、この届出がないまま、私が指定預金口座を解約した場合、また長期にわたり引落し請求がない場合、その他、貴金庫が必要と認めたときは、私に通知することなくこの契約を解除されても異議ありません。
7. この取扱いについて、かりに紛議が生じても、貴金庫には迷惑をかけません。

2019年8月現在

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」に関するお問い合わせ先

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会（基金運営事務局）　〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1カフーナ旭橋A街区6階　TEL:098-860-7845　FAX:098-894-7835